

研修カリキュラム表 (介護職員初任者研修)

事業所名：株式会社はあとふるあご 介護付有料老人ホームおぎかわ

2025年度

科目の内容等			評価方法
科目の細目	時間	「修了時の評価ポイント」番号	
1 職務の理解 (6 時間)			
多様なサービスの理解	3		評価なし
介護職員の職務と現場の理解	3		
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (9 時間)			
人権と尊厳を支える介護	5	2-① 2-②	
自立支援の考え方	4	2-① 2-②	科目終了後に筆記試験により評価する。
3 介護の基本 (6 時間)			
介護職の役割、専門性と多職種連携について	2	3-①	
介護職員の職業倫理	2	3-②	
安全管理とリスクマネジメント	1	3-③ 3-④	
介護職の安全	1	3-⑤	科目終了後に筆記試験により評価する。
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9 時間)			
介護保険制度	3	4-① 4-② 4-③	
医療連携とリハビリテーション	3	4-⑤	
障害福祉制度およびその他制度	3	4-④	科目終了後に筆記試験により評価する。
5 介護におけるコミュニケーション技術 (6 時間)			
介護におけるコミュニケーション	3	5-① 5-②	
介護におけるチームのコミュニケーション	3	5-③ 5-④	科目終了後に筆記試験により評価する。
6 老化の理解 (6 時間)			
老化に伴うことからの変化と日常	3	6-①	
高齢者の健康	3	6-②	科目終了後に筆記試験により評価する。
7 認知症の理解 (6 時間)			
認知症を取り巻く状況	1	7-① 7-②	
医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	7-③ 7-④ 7-⑤	
認知症に伴うことからの変化	2	7-⑥ 7-⑦	
家族への支援	1	7-⑧	科目終了後に筆記試験により評価する。
8 障害の理解 (3 時間)			
障害の基礎的理解	1		
障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、関わり支援等の基礎的知識	1	8-① 8-②	
家族の心理、関わり支援の理解	1		科目終了後に筆記試験により評価する。
9 ことごとからのしくみと生活支援技術 (75 時間)			
■ 基本知識の学習 12 時間			
基本知識の学習	1	9-①	
介護に関することからのしくみの基礎的理解	2	9-①	
介護に関することからのしくみの基礎的理解	2	9-①	科目終了後に筆記試験により評価する。
■ 生活支援技術の学習 51 時間			
生活支援技術の学習	4	9-② 9-⑥	
快適な居住環境整備と介護	4	9-③ 9-④	介護技術チェックシートに基づき評価する
整容に関することからのしくみと自立に向けた介護	3	9-⑤ 9-⑦	介護技術チェックシートに基づき評価する
移動・移乗に関することからのしくみと自立に向けた介護	3	9-⑧	介護技術チェックシートに基づき評価する
食事に関することからのしくみと自立に向けた介護	2	9-⑨	介護技術チェックシートに基づき評価する
入浴、清潔保持に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	3	9-⑩	介護技術チェックシートに基づき評価する
排泄に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	3	9-⑪	介護技術チェックシートに基づき評価する
睡眠に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	2	9-⑫	
死にゆく人に関連したことからのしくみと終末期介護	3	9-⑬	科目終了後に筆記試験により評価する。
カリキュラム内容をふまえた現場実習	8		実習レポートの提出を行い、評価する。
カリキュラム内容をふまえた現場実習	8		実習レポートの提出を行い、評価する。
カリキュラム内容をふまえた現場実習	8		実習レポートの提出を行い、評価する。
■ 生活支援技術演習 12 時間			
介護過程の基礎的理解	8		
総合生活支援技術演習	4		実習レポートの提出を行い、評価する。
10 振り返り (4 時間)			

振り返り	2		これまでの研修全体を振り返り、「介護」「介護サービスの利用者」「介護職の働く場」「介護職が大切にすべき視点」について個人ワーク及びグループワークをおこなう。	
就業への備えと研修修了後における継続的な研修の必要性	2		就業への備えとして、職場環境への早期適応等や、離職防止、ネットワーク構築の重要性について説明する。受講者が就業したあと継続的に学ぶことの意義やその方法例を伝える。また、事業所でおこなわれている研修の事例について紹介する。受講生が、介護職員初任者研修修了者として誇りをもち、地域福祉を推進する一員として、地域社会で活躍していくことができるように促す。	
合 計		130時間		